

# PRIMERGY MS380 ラック設置ガイド

本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000

## はじめに

このたびは、弊社の PRIMERGY MS380 ラックマウントタイプをお買い求め頂きましてありがとうございます。本ガイドでは、ラックシステム設置時の注意事項について記載しています。

ご使用前に本ガイド、および各ラック搭載装置に添付の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 警告表示の意味

本ガイドでは、いろいろな絵表示をしています、これは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。



△ で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が（左図の場合は感電注意）が示されています。



⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。



● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

# 目次

<b>1</b>	<b>添付品の確認 .....</b>	<b>3</b>
<b>2</b>	<b>名称と働き .....</b>	<b>4</b>
2.1	サーバ本体前面 .....	4
2.2	サーバ本体背面 .....	5
<b>3</b>	<b>内蔵オプションの取り付け .....</b>	<b>6</b>
3.1	フロントパネルの取り外し .....	6
3.2	上部カバーの取り外し .....	6
<b>4</b>	<b>RCI によるハードディスクキャビネットの接続 .....</b>	<b>9</b>
4.1	RCI コネクタ部の位置と機能 .....	9
4.2	RCI のアドレス .....	10
4.3	RCI によるハードディスクキャビネットの接続および接続状態の変更 .....	10

## 1 添付品の確認

ラックマウントタイプ固有の添付品を下表に示します（デスクサイドタイプとの共通品は除く）。箱の中に次の品物がそろっているか確認してください。万一、欠品などがございましたら、担当営業までお申しつけください。

名称	備考
ラック設置ガイド	本書
RCI 分岐コネクタ	1 個
RCI 終端抵抗	2 個

デスクサイドタイプと共通の添付品については、PRIMERGY MS380 取扱説明書の「2.1 梱包物の確認」を参照してください。

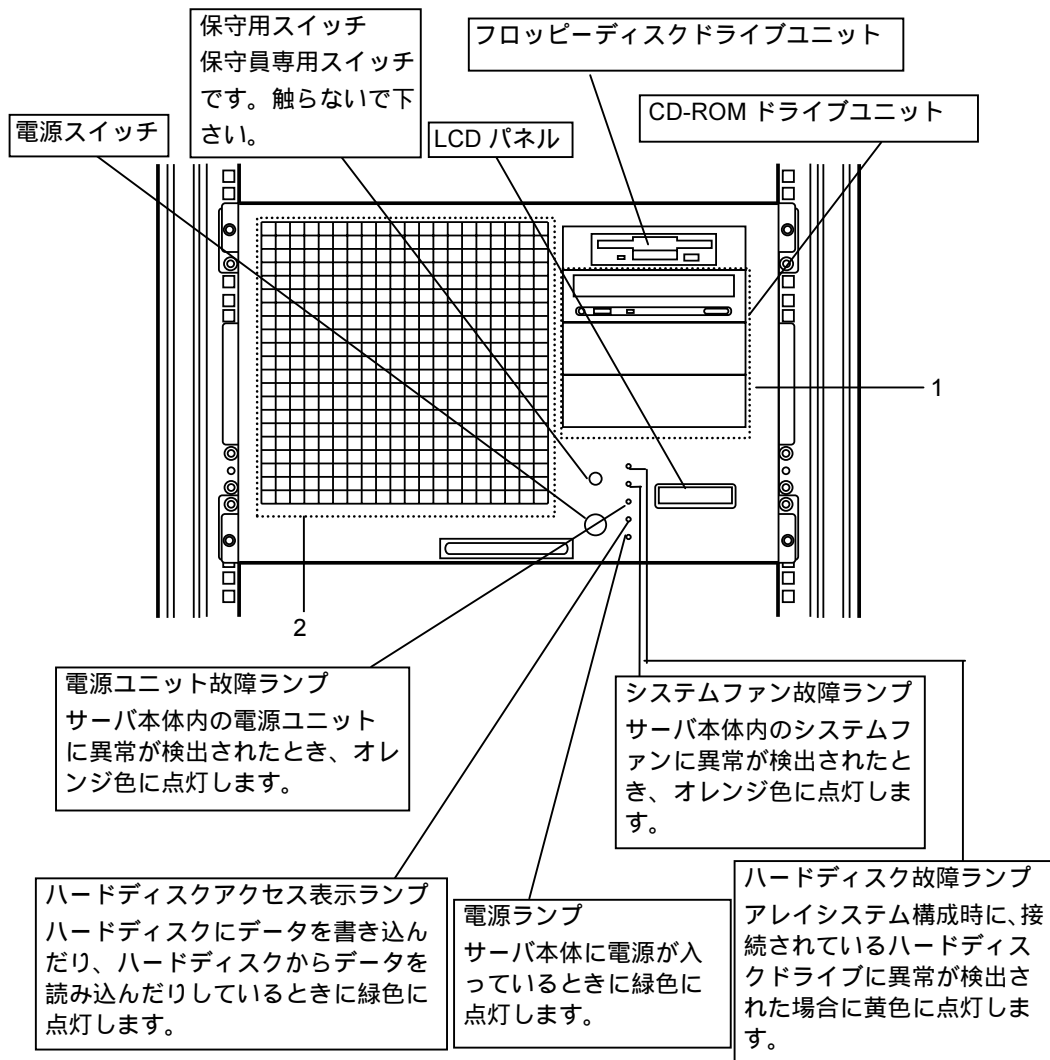
その他、添付されているドキュメントがある場合には、サーバ設置前に必ずお読みください。

## 2 名称と働き

ここではサーバ本体の各部の名称を解説します。

各部の働きに関しては、PRIMERGY MS380 取扱説明書の「第3章 基本的な操作」を参照してください。

### 2.1 サーバ本体前面



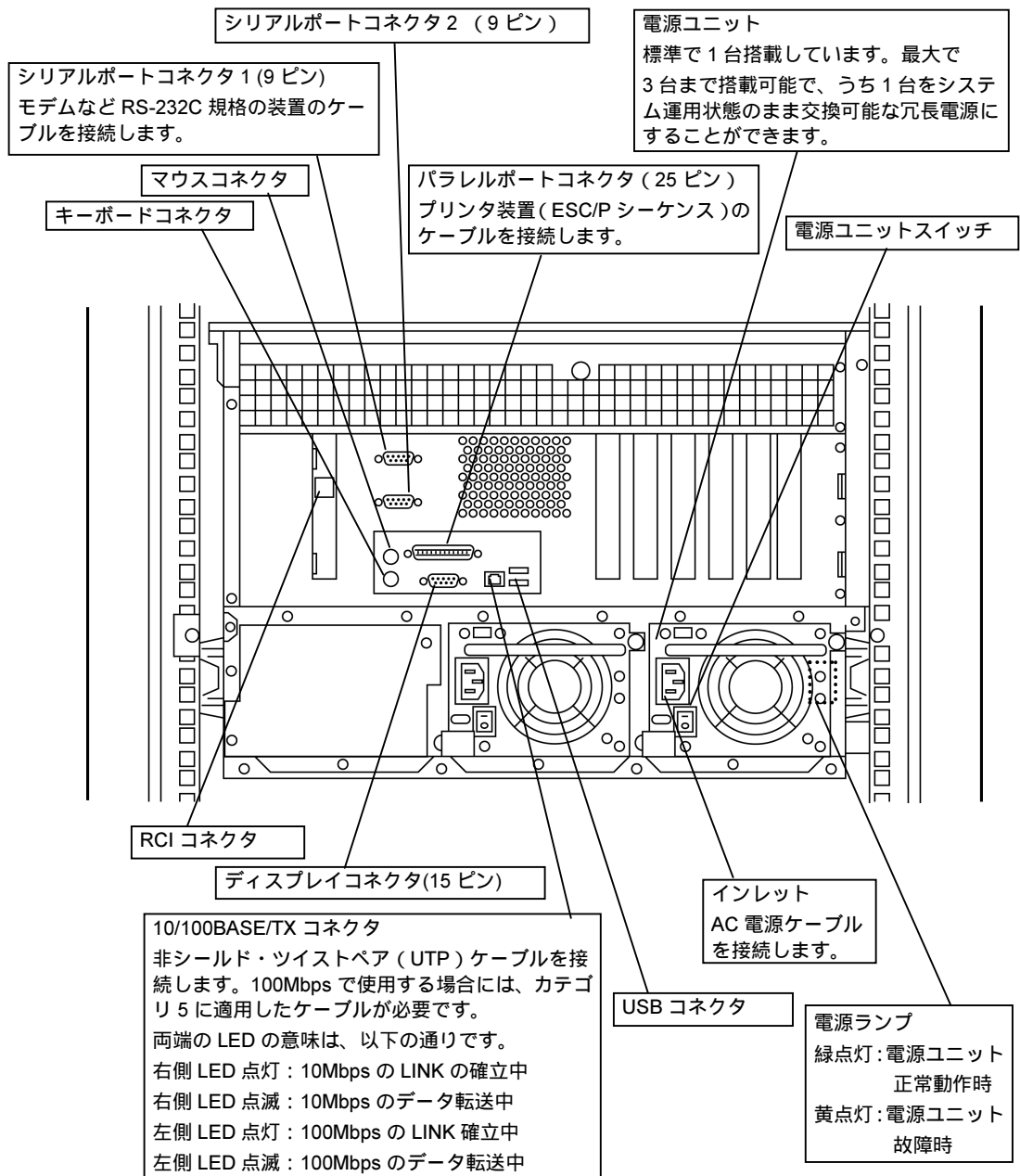
### 1 5 インチストレージベイ

IDE 規格の内蔵 CD-ROM ドライブユニット、SCSI 規格の内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット、内蔵 DAT ユニット、内蔵光磁気ディスクユニットなどを取り付けます。最上段には内蔵 CD-ROM ドライブユニットを標準で搭載しています。

### 2 3.5 インチホットプラグベイ

内蔵ハードディスクユニット（ホットプラグ対応）を取り付けます。本サーバには、8 つのホットプラグベイを用意しています。

## 2.2 サーバ本体背面



### 3 内蔵オプションの取り付け

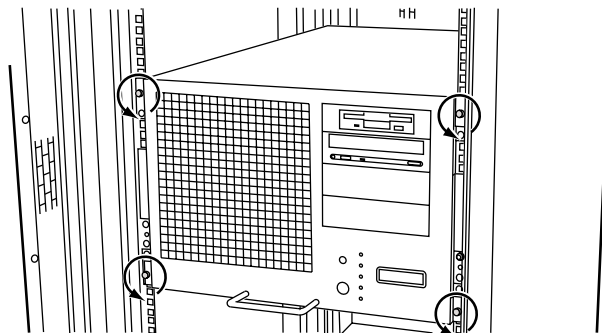
本サーバの内蔵オプションの取り付け方法については、PRIMERGY MS380 取扱説明書の「第 5 章 内蔵オプションの取り付け」も併せてお読みください。

ここでは内蔵オプションの取り付け時に必要なフロントパネルおよび上部カバーの取り付けについて説明します。

#### 3.1 フロントパネルの取り外し

##### 取り外し手順

- フロントパネルとサーバを固定している 4 個所のネジを外します。



- そのまま手前に引いて、フロントパネルを取り外します。

##### 取り付け手順

- フロントパネルの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

#### 3.2 上部カバーの取り外し

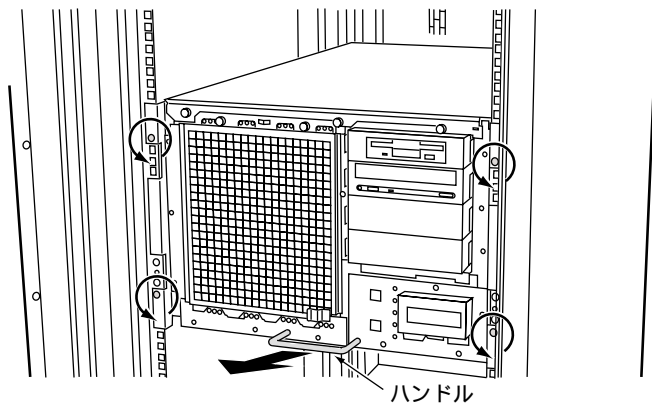
本サーバの上部のカバーは取り外すことができます。

ラックに搭載されたサーバ本体の上部は、デスクサイドタイプの左側面に対応します。

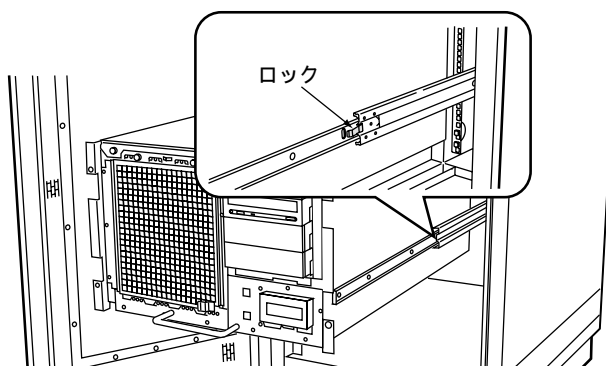
##### 取り外し手順

- 1 サーバ本体に接続されているケーブルを取り外します。
- 2 サーバ本体とラックを固定しているネジ 4 個所を取り外します。

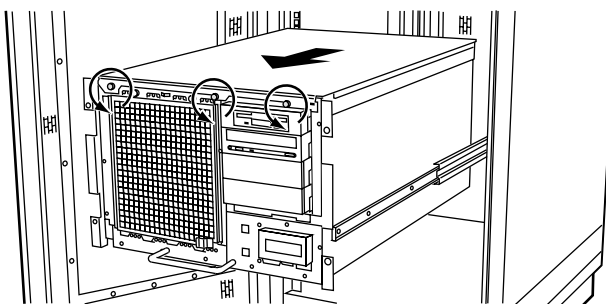
- 3** ハンドルを持ち手前に引き出します。



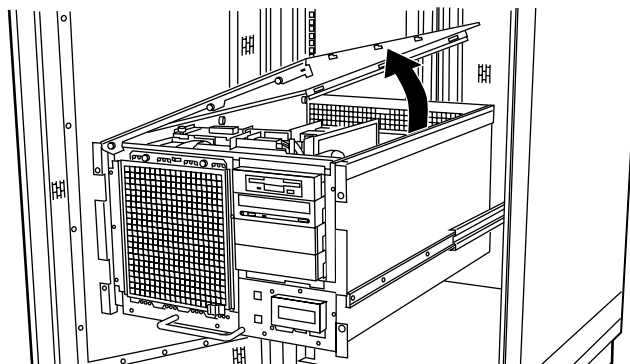
- 4** サーバ本体を、カチッと音がするまで手前に引くと、左側のレール部でロックがかかります。



- 5** 上部カバーを外す前にリストストラップを着用します。  
**6** サーバ本体の上部カバーを固定している3個所のネジを取り外します。  
**7** 上部カバーを持って内部のタブがスロットから外れるまで、ゆっくりと約3センチ程手前にカバーをスライドさせます。



- 8 両手で上部カバーを持って、カバーを本体から取り外します。

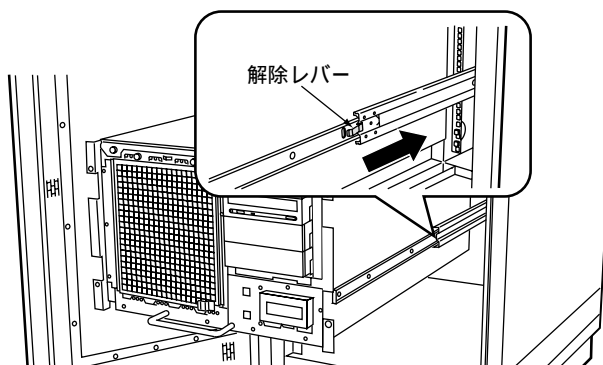


### 取り付け手順

- 上部カバーの取り付けは、取り外し手順と逆の手順で行います。
- 上部カバーを取り付けるまで、リストストラップは外さないでください。
- 上部カバーを取り付けるときに、サーバ本体内部に不要な部品や工具を置き忘れたままにしないようにご注意ください。
- 解除レバーを押してロックを解除し、サーバ本体の前面中央部を押してラック内部へゆっくりと戻してください。

#### 注意

- ロックを解除する際には、レールに指を挟み込む恐れがありますので、サーバ本体はゆっくりと押し込んでください。
- サーバ本体をラック内部へ戻すときは、ハンドルを持って操作すると指を挟み込むおそれがありますのでサーバ本体の前面中央部を押して戻してください。





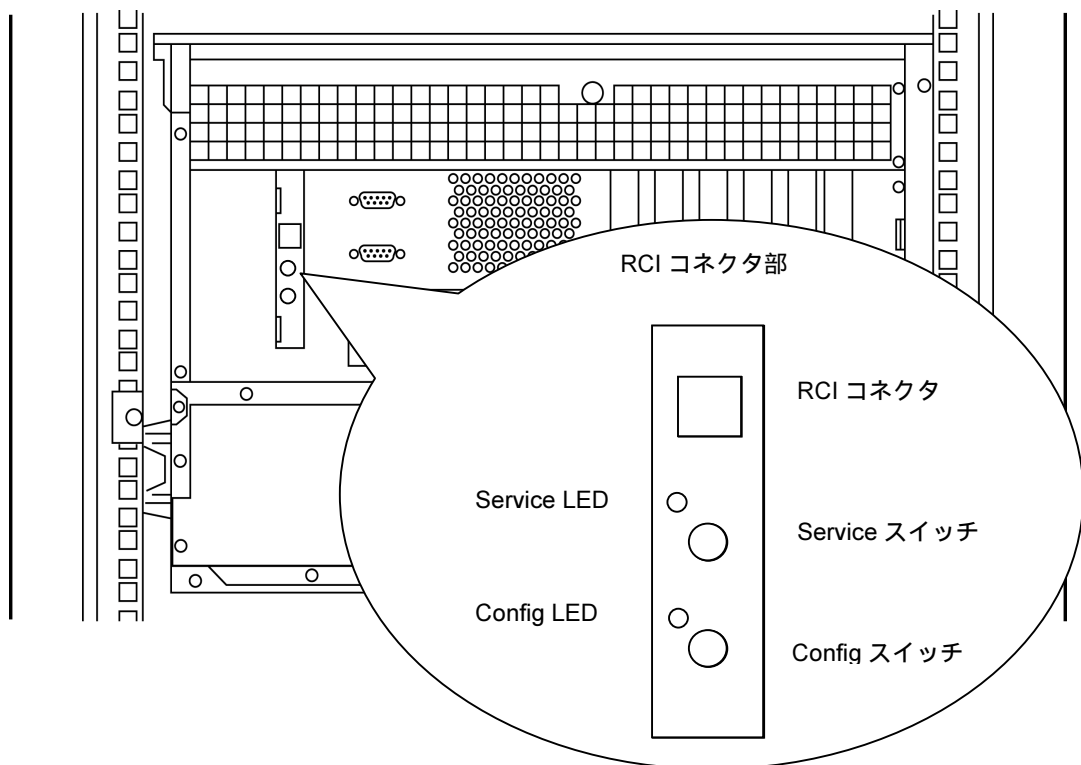
## 4 RCI によるハードディスクキャビネットの接続

PRIMERGY MS380 ラックマウントタイプでは、ハードディスクキャビネット接続時に、リモートキャビネットインタフェース(RCI)により、サーバ本体との電源連動及びサーバ本体からの監視を行うことができます。

ここでは、サーバ本体にハードディスクキャビネットに接続するときの留意事項について説明します。ハードディスクキャビネットのラックへの搭載方法、および電源ケーブルの接続方法などの詳細については、ハードディスクキャビネットに添付の取扱説明書を参照してください。

### 4.1 RCI コネクタ部の位置と機能

RCI コネクタ部の位置、および機能を以下に示します。



装備	機能
RCI コネクタ	ハードディスクキャビネットと RCI ケーブルにより接続する場合に使用するコネクタです。
Service スイッチ	当スイッチは、特別な機能はありません。使用しないで下さい。
Config スイッチ	ハードディスクキャビネットの交換、または切り離しを行う場合に使用します。
Service LED	RCI が、自己異常を検出した場合に点灯します。
Config LED	Config スイッチが押されている間、点灯します。

## 4.2 RCI のアドレス

サーバ本体がハードディスクキャビネットを認識すると、ハードディスクキャビネット上部の LCD パネルに RCI 上のハードディスクキャビネットの装置番号を示す RCI アドレス（4 桁）が表示されます。

※ 当表示は、異常発生時に異常装置を識別するために重要な情報となります。

## 4.3 RCI によるハードディスクキャビネットの接続および接続状態の変更

### ハードディスクキャビネットを増設する場合

- 1 サーバ本体の電源が切断されていることを確認して、ハードディスクキャビネットをラックに搭載します。
- 2 サーバ本体とハードディスクキャビネット間を RCI ケーブルで接続します。
- 3 サーバ本体の電源を投入すると、ハードディスクキャビネットの電源が投入され、LCD パネルに RCI アドレスが表示されます。

### ハードディスクキャビネットを交換、取り外す場合

- 1 サーバ本体の電源が切断されていることを確認して、ハードディスクキャビネットを交換、または取り外します。
- 2 作業終了後、サーバ本体背面の RCI コネクタ部の Config スイッチを 1 秒以上押します。サーバ本体の LCD パネルには「RCIconfiguration」と表示されます。
- 3 サーバ本体の電源を投入すると、変更された接続状態にしたがって、ハードディスクキャビネットの電源が投入されます。  
サーバ本体の電源を投入すると、サーバ本体の LCD パネルの「RCIconfiguration」の表示は消えます。